

横浜市大探査会・探検部OB会 2017年度総会報告書

■作成日…2017年9月16日

■作成者…川尻哲夫(幹事長)

1. 開催日時: 2017年7月1日(土) 14:00~19:00
2. 場所: 横浜市立大学八景キャンパス 本校舎203教室
3. 出席者: 27名 (順不同、敬称略、会議・懇親会のいずれかの出席者)

(1)探査会・探検部関係者

- ①大野正夫 ②松橋隆司 ③宮崎捷二 ④河合武臣 ⑤松本芳樹
- ⑥高松康夫 ⑦菅田弦 ⑧小林恵二 ⑨名和裕美 ⑩小澤幸重
- ⑪成田佳紀 ⑫水尾寛己 ⑬三浦茂 ⑭川尻哲夫 ⑮田村康一
- ⑯佐々木仁 ⑰松林孝憲 ⑱戸田亮介



(2)山岳部関係者

- ①吉田宣明



(3)現役部員

- ①岩田望 ②小杉英之 ③宮嶋紀子 ④松田千果 ⑤野村真沙美
- ⑥小山田英誠 ⑦山口嶺 ⑧田村一紗

4. 進行状況と結果

第1部・総会会議 (14:00~15:30 司会: 河合武臣)

(1)開会挨拶…宮崎会長

(2)OB会設立の趣旨と会則の説明…川尻幹事長

- ①「OB会の設立趣旨と会則の活かし方」と題して、
スライド11駒による説明を行った。

(※OB会のWEBサイトでパワーポイントの閲覧が出来ます)

- ②要旨: ●緩やかなOB会組織と最小限のルールの遵守。
●活力のある人生を生き抜くために、親睦よりも情報交換を活発にする。(特に、退職世代)
●現役の活動支援(①資金援助②技術指導③情報提供④人脈活用⑤救援活動)も行う。
●知的好奇心を満たして、現役も探査の題材探し出来るようなOB旅行会を実施する。

(3)全幹事の自己紹介

(4)主幹事からの進捗報告と協議

①会則の協議と幹事の承認

…大きな問題点は無かったが、以下が指摘、修正、合意された。

- 退会後に再入会の者への寄付金願いの文言は削除する。

- 他の文言は次年度の総会前に「OB会会則修正版」として公表予定。

…全幹事が承認されて、3年の任期を務めることとなった。

②会計(三浦茂)

…集まった寄付金総額と総会経費との差額はプールしておき、
以後の組織運営費に充当する。

- 会計報告の詳細は近日中に三浦氏からメーリングリストにて公開。

③山岳部窓口(高松康夫)

…今回は1名参加だが、今後は山岳部OB会との関係を深める方向となった。

(※両部の装備品が市大倉庫に混在している実態も踏まえて)

6. では、どうすれば①→②→③は活発化できるのか?

(1)WEBサイトでの情報発信を強化する

- ①記録の保存・整理 ②個人会員のサイトとのリンク ③現役の活動を発信(リンク) ④…
- (2)年1回の総会で、「私のライフワーク」の発表を継続して、会員の参加者を増やす。
①一期一会の気持ちで参加、会員同士の意外な接点を発見。②継続して、発表者の自薦・他薦を促す
- (3)会員名簿の整備とメーリングリストメンバーの拡大を図る。
①C・B世代の情報を読んで、できるだけ多くメーリングリストに加入してもらう。②山岳部との交流を図る。

(4)海外に詳しく、ツテのあるOBが企画する海外旅行会を実施する。

- ①年に1回、台湾、フィリピン、ベトナム、中国等をOBの案内で旅行する ②海外情報を現役の活動に生かす

③情報交換



《OB旅行会について(案)》

1. 対象とする外国に精通している、パイプを持っている等のOBが幹事となって、参加を希望するOB同士の旅行会。
2. 一般的な観光とは異なり、テーマ性があって、独自の体験が出来てかつ現役も探査活動の題材が発見できる旅行としたい。
3. OB会からの費用援助はない。
4. 案として、①来年春:台湾東部
②再来年夏:ラオス が上がって いる。今後、検討を進めたい。
5. 70年代前半OBの旅行会(青春の会・2年に1回の国内旅行)とは別のものであるが、趣旨は似ている。

●山岳部OB全会員に、次年度から当会の総会・懇親会の案内状を出す。(案)

●「私のライフワーク」での発表機会を設ける。(案)

④名簿管理(名和裕美)

…隨時、会員の情報収集、修正、追加作業をしている。既に200名を越える人数となっていて負担は大きいが、当分、続ける。

●現役の写真と最近の写真を並列することで、時の流れを痛切に感じる。(意見)

●顔写真掲示は消息を知る・伝える手掛かりになるので、有意義である。(意見)

⑤WEBサイト運営(田村康一)

…旧OB会時代のサイト運営者小森啓志氏から引き継いだ。今後はさらに情報交換の役割が増すので、訴求力の大きいサイトを目指したい。

●少なくともマーリングリストメンバーは、常にWEBサイトを見てほしい。

●過去の探検活動の資料を整備しているので、送ってほしい。

⑥現役部員の活動報告(岩田望、小杉英之)

…まだ訓練合宿程度の活動だが、OB会との連携を図ることで、探検活動、できれば海外遠征に踏み出したい。

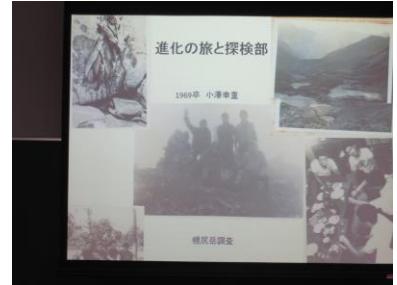
第2部・会員発表「私のライフワーク」 (15:30~17:30 司会:高松康夫)

(1)趣旨…

①現役～在職～退職のいずれかの期間において、ライフワークとして取り組んでいる活動を発表することで、OB同士の生き方、働き方を相互に啓発しあう。

②テーマは、探検的活動、趣味、仕事等何でも良いが、ある程度の一貫性があればなお望ましい。

③発表方法は、原則としてパワーポイントによるスライド説明とする。



(2)今回の演者と発表内容…別紙1 として、要旨を添付した。また、WEBサイトでパワポの閲覧も可能。

①松林孝憲(1993年商入学):「関西でのアレコレ」

②川尻哲夫(1970年商入学):「起業はつらいよ～皮膚保護クリームに賭けた17年～」

③大野正夫(1959年生物入学):「実録:ベトナムの1970年から2017年まで」

④小澤幸重(1965年生物入学):「進化の旅と探検部」

(3)今後の進め方…

①発表者を5～6人まで増やしたい。(会則等の協議事項に時間は費やさない前提であれば)

②山岳部OB会からも発表者を出したい。(両OB会の連携につながる)

③次年度の予定者は2名が内定しているが、自薦、他薦で増やしていきたい。

●松下明氏(S51年商卒) ●宮本宏明氏(山岳部OB)

第3部・懇親会 (17:30~19:00 場所:シーガル食堂)

■会費3,000円(現役1,000円)でオードブル形式。別紙2 として、写真を掲載した。

■現役との初めての懇親会で、親子二代で探検部所属の部員がいることが判明した。(別紙2を参照)

5. まとめ

- (1)OBを3代に分けると、退職世代(60歳以上)、退職準備世代(40～60歳)、仕事中心世代(40歳以下)となり、20年で世代交代が進む(実に早い!)。OB会として、どの世代にも生かせる活動に取り組みたい。
- (2)予想出席者数から見ると不足していたので、次年度はWEBサイト、文書等でさらなる動員を図りたい。
- (3)会場準備で現役窓口の岩田氏、小杉氏には、多大のお世話になったことを感謝したい。

以上